

休
館
日

10/6(月)・12(日)・14(火)・15(水)・
20(月)・27(月)・30(木)
11/4(火)・5(水)
※10/12(日)はふるさと祭りのため
休館になります。

わらべの会の読み聞かせ
毎週土曜日 11:00～
パネルシアター
10/8(水)・10/22(水)10:00～

図書館



(文化センター内) ☎54-6767

吉岡町図書館

Q 検 索 Click!

一般向け(図書)

📖 天空遊園地まほろば

(浜口倫太郎／ポプラ社)

ここは、もう二度と会えないあなたの大切な人と「再会」できる場所。ですが、当園では泣くことは禁止です。泣くと、あなたの大切なものが失われます。人生の愛おしさに温かな涙がこぼれるやさしい5つの物語。TRCマークより

📖 ロバのクサツネと歩く日本

(高田晃太郎／河出書房新社)

33歳、人生で一番大きな買い物をした。雄ロバ1頭、50万円。日本でロバと歩いて旅ができるなら、それはきっと、いい世界に違いない。相棒「クサツネ」と日本各地を巡った旅の記録。

TRCマークより

📖 独り言の多い博物館

(標野風／幻冬舎)

丘の上にある古いレンガの「別れの博物館」。さまざまな想いを抱えた人々が、今日も博物館を訪れます。新たな一歩を踏み出すために。大切な何かを取り戻すために。思い出の品、お預かりします。TRCマークより

DVD 陰陽師 0

インサイド・ヘッド 2

にっぽん百低山／関東編 1



児童向け(図書)

📖 僕の仕事はごみ清掃員。

(滝沢秀一／河出書房新社)

生きている限り一生付き合うことになる「ごみ」。ごみ清掃員という仕事を通して、生活と社会と人を見つめてきた著者による、おもしろくてためになる特別授業を収録する。TRCマークより

📖 ねこのいえで

(高橋和枝／アリス館)

猫のちーこがいなくなった。どこにいらっしゃる。見つからなかったらどうしよう。家の中だけで暮らしてきたちーこは、外のことはなんにも知らない。遠くには行かないはずだけど…。猫がいなくなって、帰ってくるまでのお話。TRCマークより

📖 イタチと野ネズミのはなし

(山下雅洋／アリス館)

孤独だったイタチは、とびきりおいしいスープを作る野ネズミに出会う。ふたりで過ごしていくうちに、心を開いていくイタチ。しかしある朝、野ネズミがキツネに襲われ…。森の中の命のつながりと、出会いと別れを描く。TRCマークより

CD 天使の歌声

～ウィーン少年合唱団 2025ベスト

GEN(星野 源)

昭和100年JAPANESE CITYPOP
NON-STOP BEST MIX



▲渡り初めの様子



吉岡町「吉岡」誕生70周年記念

写真でみる「吉岡」いま・むかし

History of Yoshioka

上毛大橋

吉岡町大久保と前橋市川原町を結ぶ延長752mの橋で、平成11(1999)年3月28日に開通しました。当日はテープカットや地域住民による渡り初めといった記念行事に加え、太鼓や山車などの郷土芸能も披露されました。この橋の開通をきっかけとして、大型店舗が相次いでオープンするなど、経済活動が活発化しました。



HOT SHOT



ねこの手^{ジュニア}Jr.が町内保育園で 読み聞かせ

町の生涯学習ボランティアグループねこの手VGの小学生から大学生までで組織する「ねこの手^{ジュニア}Jr.」が、この夏も吉岡町内の保育園と認定こども園で読み聞かせを行いました。取材に伺った第三保育園では、参加型の読み聞かせや英語の歌など工夫をこらしたメニューに園児たちは大喜び。ねこの手^{ジュニア}Jr.の子どもたちと楽しい時間を過ごしました。

第79回国民スポーツ大会 関東ブロック大会

8月24日、吉岡中体育館にて銃剣道競技の関東ブロック大会が開催されました。8チームの32人が滋賀県で開催される国民スポーツ大会の出場権獲得を目指し、真剣勝負が繰り広げられました。



リバートピア吉岡へ無料でご招待

町民の皆さまの健康増進と地域の振興・交流のために、よしおか温泉「リバートピア吉岡」の町民特別無料招待券を進呈します。招待券は本号に挟み込まれています。ぜひご利用ください。

有効期限 令和8年2月28日[±]

問い合わせ先

産業観光課 産業振興室 ☎26-2280(直通)

友好都市 大樹^{たいきちょう}町通信

第34回歴舟川清流まつり

8月3日、歴舟川河川敷で「第34回歴舟川清流まつり」を行いました。会場には数多くの売店が並び、ステージではダンスやトークショーなどさまざまな催しが開かれ、会場を盛り上げました。今年初めて行われたライブペイントでは、「TAIKI」の文字にアーティストが思う大樹町の魅力を、リアルタイムで描き上げ披露してくれました。夜にはペルプネ火祭りが行われ、勢いよく燃え上がる柱たいまつは、山側に倒れたら五穀豊穡、海側に倒れたら豊漁と言い伝えられています。今年は海側に倒れ、豊漁が期待されます。



このコーナーでは友好都市大樹町の魅力を町民の皆さんに紹介します。